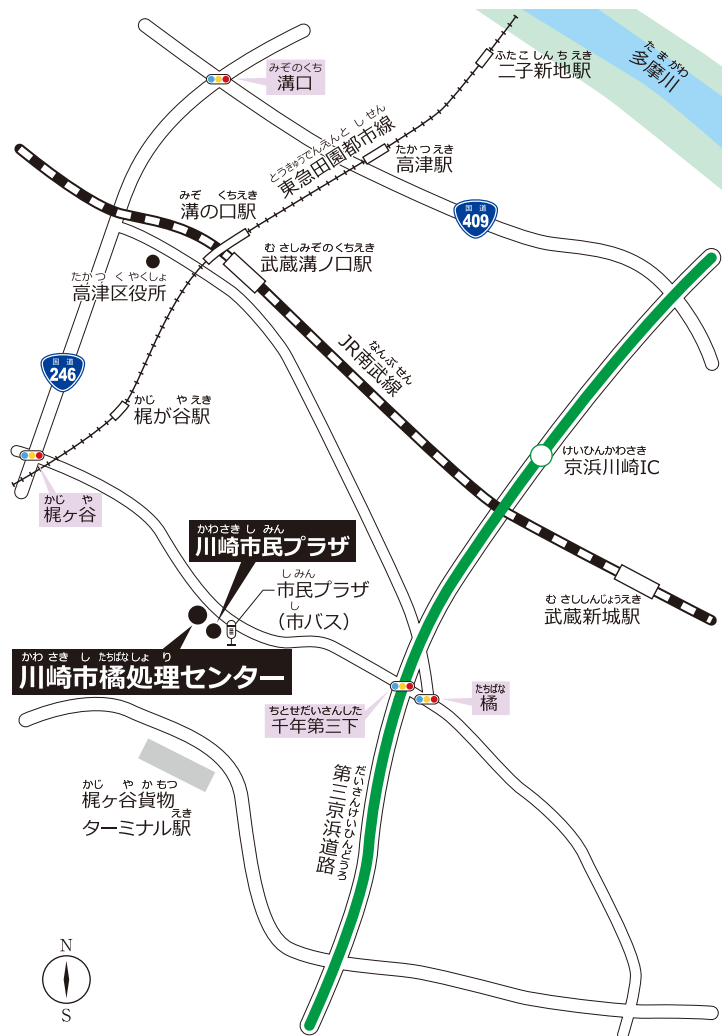


施設案内図



みぞ ぐち えきみなぐち
溝の口駅南口(バス)
みぞ かじ が や えき
溝23:梶ヶ谷駅行 市民プラザ(11分)
かじ が や えき
梶ヶ谷駅(バス)
みぞ みぞ ぐち えきみなぐち いき 市民プラザ(8分)



し みん
市民プラザから 徒歩(1分)
かじ が や えき
梶ヶ谷駅から 徒歩(14分)
みぞ ぐち えき
溝の口駅から 徒歩(24分)

川崎市橋処理センター

〒213-0014 神奈川県川崎市高津区新作1丁目20番1号
Tel. 044-865-0013

ごみ分別アプリを配信しています

「川崎市ごみ分別アプリ」は資源物とごみのさまざまな情報を発信するアプリです。
「ごみの出し方がわからない」、「プラスチック製容器包装を出し忘れた!」
こんなことはありませんか?
そんなときは、川崎市ごみ分別アプリをご利用ください。
資源物とごみのキーワード検索、収集日をお知らせするアラート機能、豆知識、3Rクイズなどさまざまな情報を発信します。

iPhone・iOS端末



Android端末



アプリダウンロード方法

スマートフォンやタブレット端末などから以下の方法で無料でダウンロードできます。

- ① 左記または市のホームページ上に掲載している「2次元コード」を読み取る。
- ② 「App Store」または「Google Play」からダウンロード。

※対応OS:iOS8.0以降、Android4.0以降

川崎市ごみ分別アプリ

検索

かわ さき し たちばな しよ り

川崎市橋処理センター



かわさき3R推進キャラクター
かわるん



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市



施設配置図



橋処理センターは、昭和49(1974)年からごみを燃やして処理する施設として、昭和63(1988)年から粗大ごみ処理施設を備え、普通ごみと粗大ごみを処理してきました。新しい施設はごみ焼却処理施設とミックスペーパー資源化処理施設を備え、令和6(2024)年4月に本格的に運転を開始しました。

現在の施設はごみを燃やした時に発生する熱を利用してボイラーで蒸気が発生させ、性能の良い蒸気タービン発電機により最大約14,100キロワットの電気を作り、施設に必要な電気として使うほか、電力会社を通じて、学校など公共施設に使われています。また、発生する蒸気の一部を隣の川崎市民プラザに送り、冷暖房や温水プール等の熱として利用するなど、ごみを燃やして発生した熱やエネルギーを活用し、地球にやさしい環境づくりを目指します。

- a,b 周りの小学校や住民の方々の投票で決めた白とグレーの外観
c 地面の高低差を利用した川崎市民プラザに続く広い空間
d 昔からこの地域に生えている植物から選んだ草木
e 建物の周りにある敷地面積の1/4を占める緑
f 川崎市民プラザや周りの緑と一体に生き物が生活できる環境づくり
g 川崎市民プラザの冷暖房や温水プールの熱のもとになる蒸気を送る橋
h 災害時にトイレとして利用できるマンホール
i 災害時に煮炊きができるベンチ

施設概要

施設名称：川崎市橋処理センター
川崎市橋処理センター発電所
所在地：神奈川県川崎市高津区新作1丁目20番1号
敷地面積：24,488.63㎡
建築面積：13,902.71㎡
延床面積：31,918.44㎡
煙突高さ：100m
建設工事費：344億2,426万円
着工：平成29年(2017年)12月19日
竣工：令和6年(2024年)3月29日

資源化処理施設

処理対象物：ミックスペーパー
処理能力：45t/日(22.5t/日×2ライン)
処理方式：手選別、圧縮梱包方式

ごみ焼却処理施設

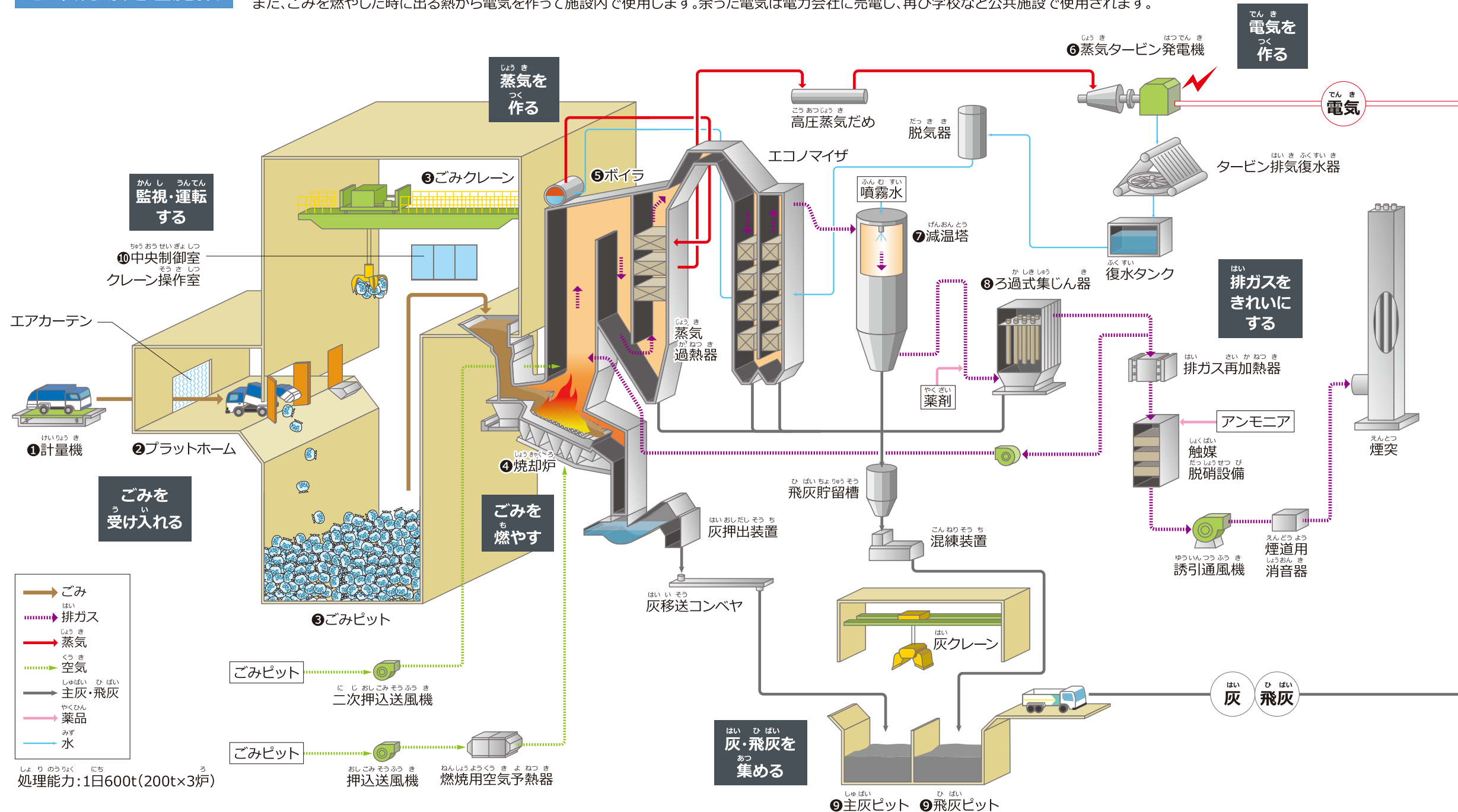
処理対象物：普通ごみ
処理能力：600t/日(200t/日×3炉)
処理方式：焼却方式(ストーカ式)
余熱利用：蒸気タービン発電機(定格出力14,100kW)

排ガス基準値

項目	管理基準値
ばいじん	0.008 g/㎡N
硫黄酸化物(SOx)	8 ppm
塩化水素(HCL)	8 ppm
窒素酸化物(NOx)	24 ppm
一酸化炭素(CO)	30 ppm
ダイオキシン類(DXNs)	0.008 ng-TEQ/㎡N

ごみ焼却処理施設

ここは、みんなが出したごみを安全に燃やす施設です。燃やしたあとに出る灰は、最終処分場に運び埋立処分されます。また、ごみを燃やした時に出る熱から電気を作って施設内で使います。余った電気は電力会社に売電し、再び学校など公共施設で使われます。



施設内利用
機械を動かす電気として使います



電力会社などへ売電
学校など公共施設で使われます

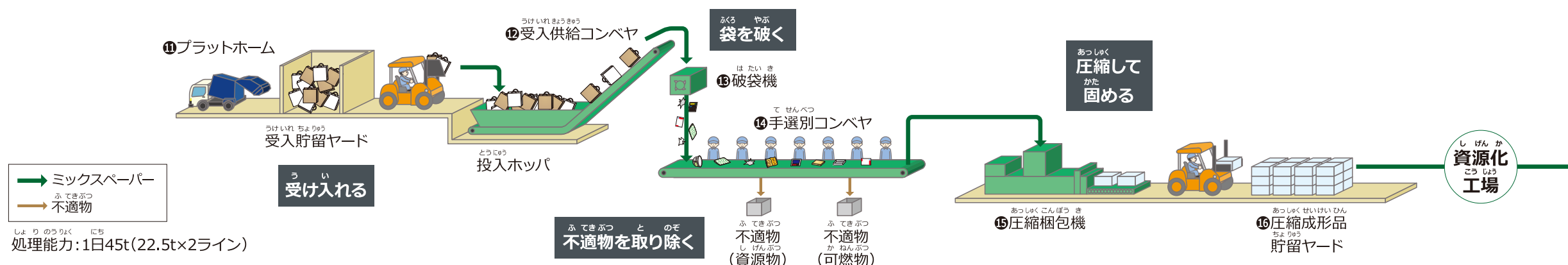


浮島埋立処分場

浮島埋立処分場で埋立処分されます

資源化処理施設

ここは、みんなが出したミックスペーパーから不適物を取り除き、もう一度使えるものを回収し、資源化する工場へ運ぶための施設です。



再生品
トイレットペーパーに生まれ変わります

ごみ焼却処理施設 主な設備

ごみを受け入れる



①ごみ計量所
施設へ運ばれてきたごみは、最初に計量機でごみ収集車ごと重さを量ります。

②プラットフォーム

ごみ収集車はプラットフォームにあるごみ投入扉からごみピットにごみを投入します。



ごみを燃やす



③ごみピット・ごみクレーン

ごみピットにためられたごみをクレーンでよくかき混ぜてから、焼却炉に投入します。



④焼却炉

ストーカとよばれる動く床でごみを送りながら850℃以上の高温で燃やします。

蒸気を作る



⑤ボイラ

焼却炉でごみを燃やしたときに出る熱を利用して、水を蒸気に変えます。

電気を作る



⑥蒸気タービン発電機

ボイラでつくった蒸気を利用して発電機を回し、最大14,100kWの電気を作ります。

監視・運転する



⑦中央制御室

ごみを安全に処理するために、コンピュータで機械の運転状況を24時間監視しています。

灰・飛灰を集める



⑧主灰ピット・飛灰ピット

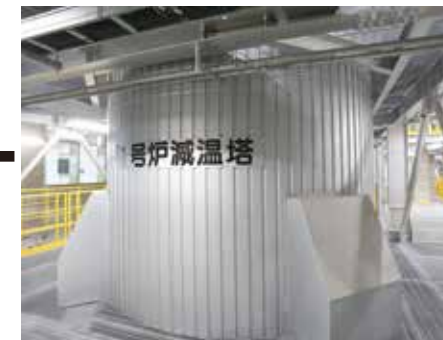
灰と飛灰をためて場外へ運び出し、埋立処分します。

排ガスをきれいにする



⑨ろ過式集じん器

排ガスの中に含まれる有害なものをフィルタを通すことで取り除き、きれいにします。



⑩減温塔

排ガスに水を吹きかけて温度を下げます。

資源化処理施設 主な設備

受け入れる



⑪プラットフォーム

ミックスペーパーを一時ためます。



⑫受入供給コンベヤ

ミックスペーパーを破袋機へ送ります。

袋を破く



⑬破袋機

収集袋を破いて中身をだします。

不適物を取り除く



⑭手選別コンベヤ

手作業で不適物を取り除きます。

圧縮して固める



⑮圧縮梱包機

ミックスペーパーを圧縮します。



⑯成形品貯留ヤード

圧縮成形品を集めて場外へ運びます。